

緊急連絡先

高熱、刺入部・点滴のトラブル時

退院後の主治医

病院

主治医

先生



—

—

夜間連絡先

—

—

訪問看護ステーション



—

—

※必ずご記入ください。

※ポンプ交換が必要な場合、交換までの
対応方法は医療機関へご確認ください。

地球の恵みを、社会の望みに。



エア・ウォーター・メディカル株式会社

各部の名称／クレンメ使用方法

6ページ

充電池の準備

9ページ

電源アダプタの使い方

11ページ

チューブセットに輸液剤を満たす

12ページ

電源を入れる

16ページ

流量を設定する

17ページ

チューブをポンプにセットする

18ページ

開始・停止する

22ページ

輸液剤の交換方法

24ページ

「輸液が流れていません」
と言ったら【閉塞】

26ページ

「輸液剤が空になっているか、カセットのチューブに
空気が入っています」と言ったら【空液】

28ページ

電源アダプタ接続マーク■が点滅していたら

45ページ

HPN

カフティーポンプS用

ご使用の手引き
在宅中心 静脈栄養法



こちらから使い方動画
をご覧いただけます

緊急連絡先(裏表紙)

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備
電源アダプタの
使い方

チューブセットに
輸液剤を満たす
電源を入れる

流量を設定する
チューブをポンプに
セットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法
閉塞警報

空液警報

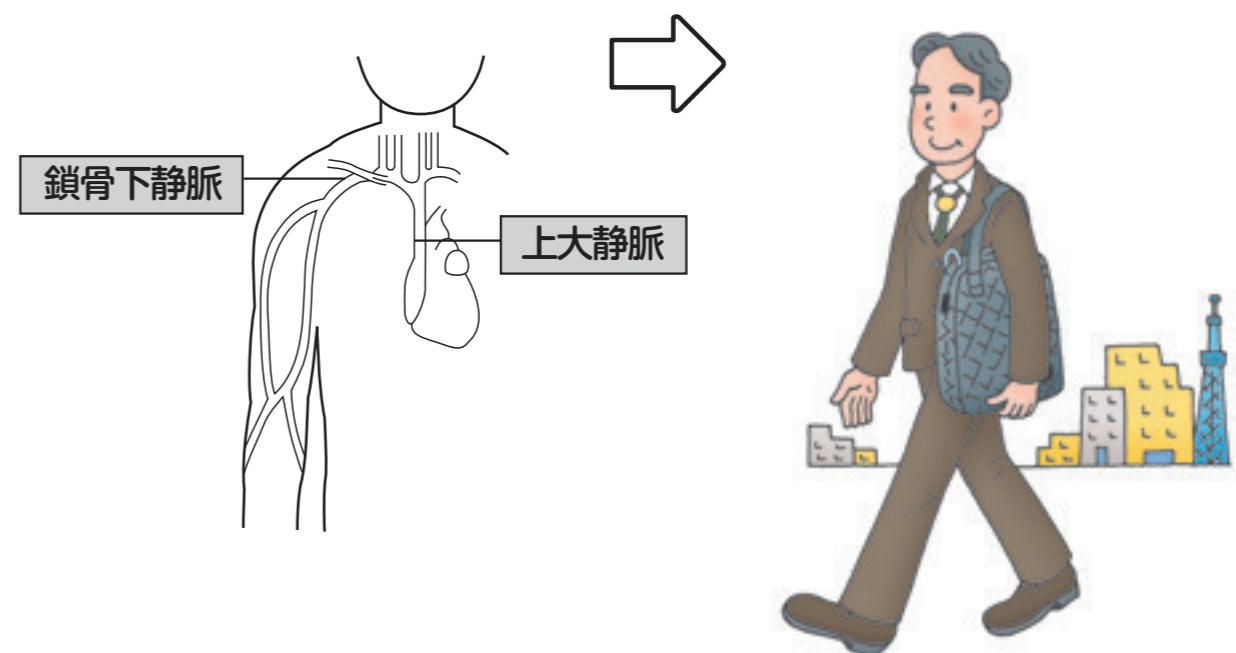
点滅

なぜ輸液をするのでしょうか？

食事などで必要な栄養を摂ることができない場合に
栄養状態を維持・改善するために行います。

高カロリー輸液は、鎖骨の下
の血管から管を入れて、上大
静脈という心臓に近くて太い
血管から点滴します。

入院せずに家庭での生活が可
能になり、社会復帰すること
も可能になります。



なぜポンプを使うのでしょうか？

ご自宅でのポンプご使用例

ポンプを使用することによって、自動的に一定量を確実に投与することができ、流量調節や滴下確認の負担を軽減できるようになります。



販売名：カフティーポンプS
医療機器承認番号：22300BZX00129000
特定保守管理医療機器
製造販売業者：エア・ウォーター・メディカル株式会社

このご使用の手引きは、ご自宅で「カフティーポンプS」をご使用になる方へポンプのご使用方法と緊急時の対応方法を説明しています。

「カフティーポンプS」をご使用の際はすぐに確認できる場所にご準備ください。

ソフトケース



キャリーパックTM



※お好みのかばんなどに入れてもご使用できます。



ジャケットⅡ



準備するもの

説明した人 説明受けた人

カフティー®ポンプS



専用充電器

(A)



(B)



(A)・(B)2種類あります。お手元の種類にあわせて使用方法をご確認ください。

専用充電池



お手元には、黒・白どちらか一方の専用充電池が4本あることをご確認ください。



専用電源アダプタ



輸液剤等



チューブセット

輸液剤

(別途配布品)

全体の流れ

STEP 1 電源を入れる

STEP 2 流量設定

STEP 3 チューブをポンプにセット

STEP 4 開始

STEP 5 停止(片づけ)

各部の名称 / クレンメ使用方法

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

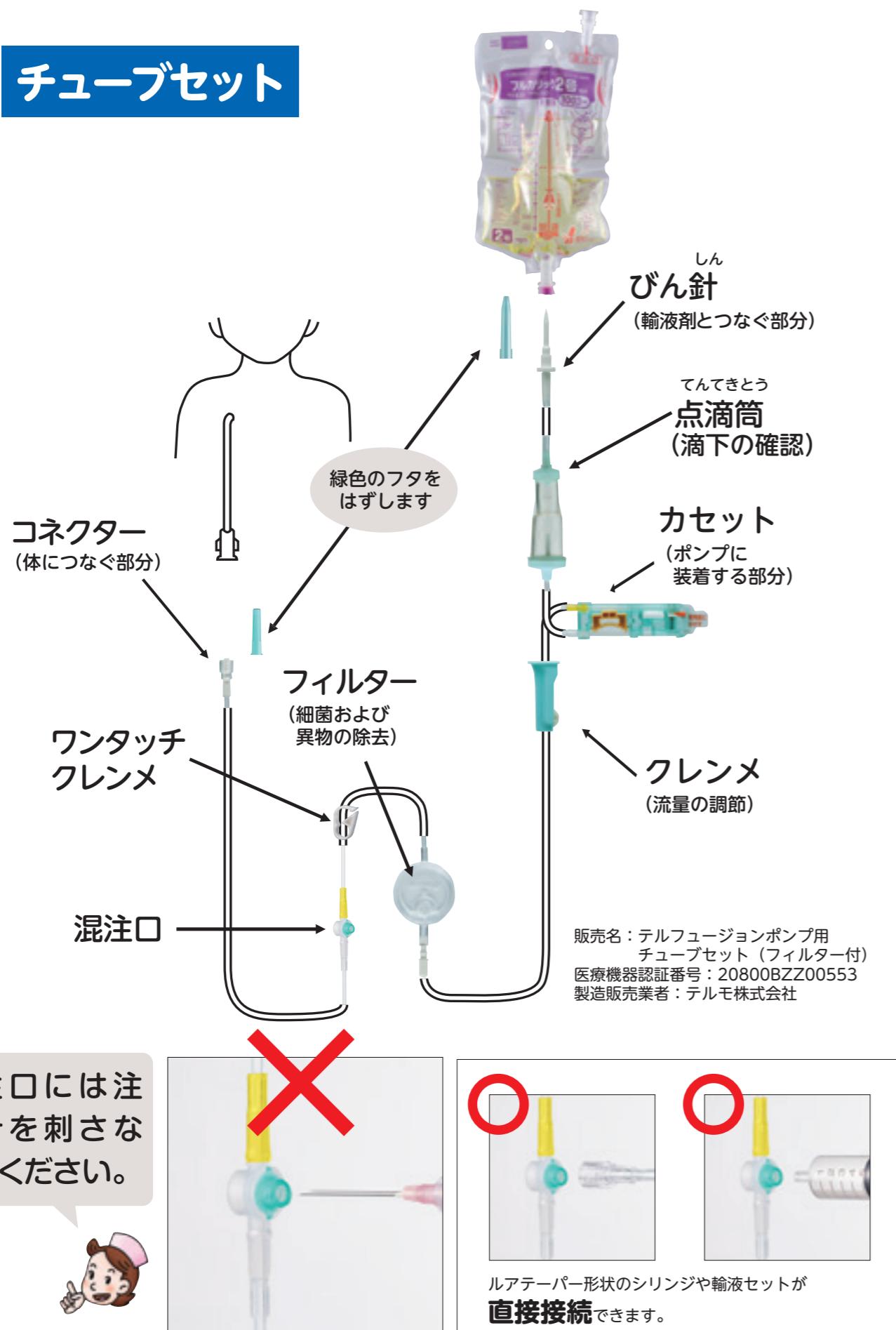
開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

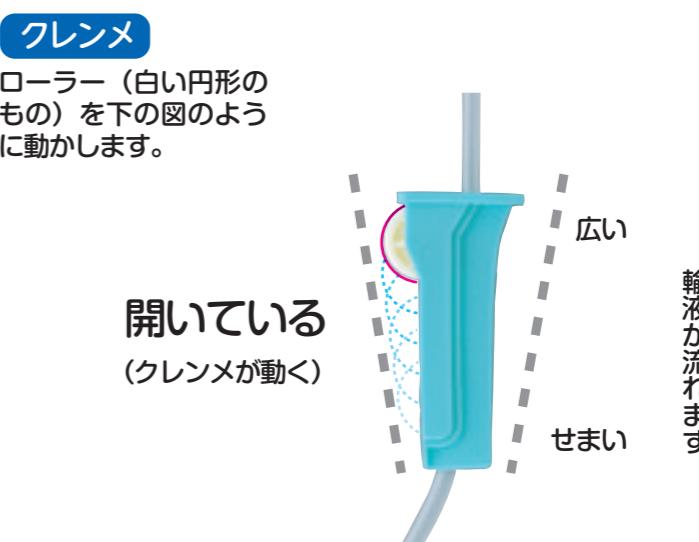
空液警報

チューブセット



クレンメ使用方法

クレンメは輸液剤の流れを調整するものです。
このチューブセットには、下図のように2種類あります。



各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

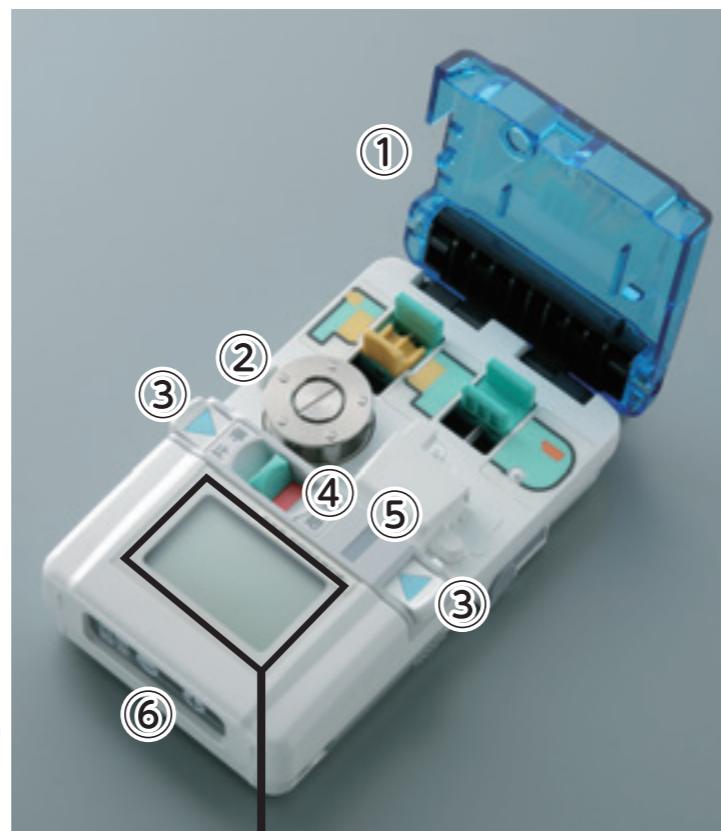
閉塞警報

空液警報

充電池の準備

カフティーポンプS

- ① カバー
- ② ローター
- ③ カバーオープンボタン
※2つ同時に押してカバーを開きます。
- ④ スイッチ
[開始／停止・消音]
- ⑤ 動作インジケータ
緑色点滅 → 正常動作時
黄色点灯 → 警報発生時
(開始忘れ/電圧低下)
赤色点滅 → 警報発生時
(閉塞/空液/故障)
- ⑥ 流量設定スイッチ



表示部マーク説明



- ⑦ [閉塞] 警報
- ⑧ [空液] 警報
- ⑨ [流量]
- ⑩ バッテリアイコン
- ⑪ [カセット未装着] 警報
- ⑫ 電源アダプタ接続マーク
(コンセント使用時に点灯)
- ⑬ 警報音停止アイコン
(警報音を止めたときに点灯)

カフティーポンプSは
専用充電池もしくは専用電源アダプタで動きます。

専用充電器A の場合

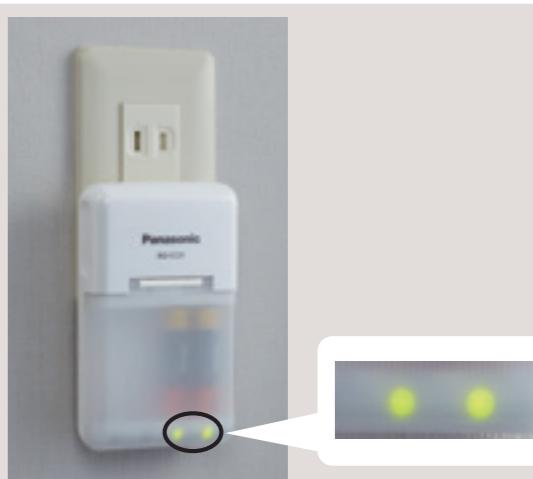
- 1 充電池を充電器に入れる

オレンジを合わせて
2本同じ向きにね!



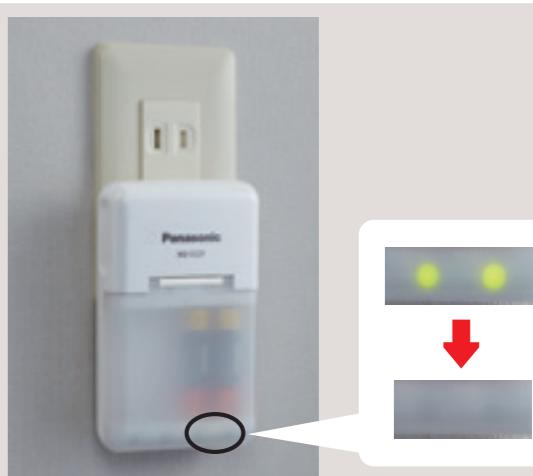
- 2 充電器をコンセントに差し込む

充電ランプが
点灯するか確認



- 3 充電ランプが消えたら
充電完了です

充電後は
コンセントにさしたままでも大丈夫よ



電源アダプタの使い方

専用充電器(B)の場合

1 充電池を充電器に入れる

オレンジを合わせて
2本同じ向きにね!



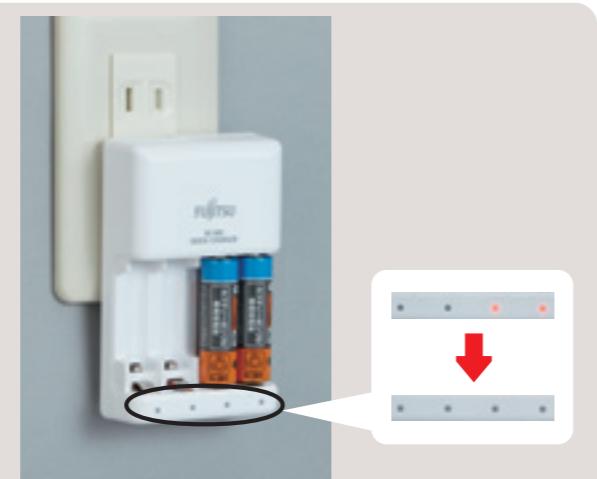
2 充電器をコンセントに 差し込む

充電ランプが
点灯するか確認



3 充電ランプが消えたら 充電完了です

充電後は
コンセントにさした
ままでも大丈夫よ



●充電中は、「ジー」という小さな音が聞こえますが、
故障ではありません。

空の状態から満充電まで約5時間です。満充電にすると、80mL/hで24時間連続使用できます。

1組の充電池を使用している間にもう1組の充電池を充電して毎日交互に使用することをお勧めします。

*カフティーポンプSの稼働時間については38ページを参照

本体側面の接続コネクタに電源アダプタを接続し、
電源プラグをコンセントに差し込みます。

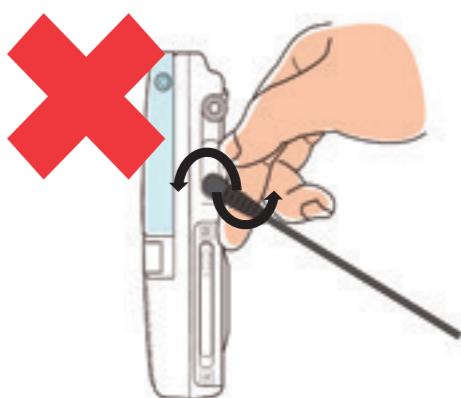


電源アダプタをつなぐ
と電源が入ります



バッテリアイコンと
流量数値が点滅して
います。

電源アダプタを外すときは、L型部を指でつまんでまっすぐ抜いてください。



回転しながら抜くと、ポンプ本体側アダプタ
受け口内部の断線原因となります。

停電や、電源アダプタがはずれた時のために、常に充電済みの充電池、または新品の単3形アルカリ乾電池をポンプに入れておいてください。

(電源アダプタのみでも、ポンプは稼働しますが3分毎に「電池がなくなりました」とアナウンスします。)

※充電池は放電するため、1週間ごとに充電済みのものと入れ替えてください。

※電源アダプタを接続しても充電池は充電されません。

チューブセットに輸液剤を満たす

チューブセットに輸液剤を満たすことをプライミングといいます。

① 高カロリー輸液剤を準備する



冷蔵された輸液剤は点滴を開始するお部屋に
出しておきましょう。
目安は3時間前です。



② 包装からカフティー[®]ポンプ用チューブセットを取り出す ヒューバー針を使用する場合は、包装から取り出し、 カフティーポンプ用チューブセットに接続する



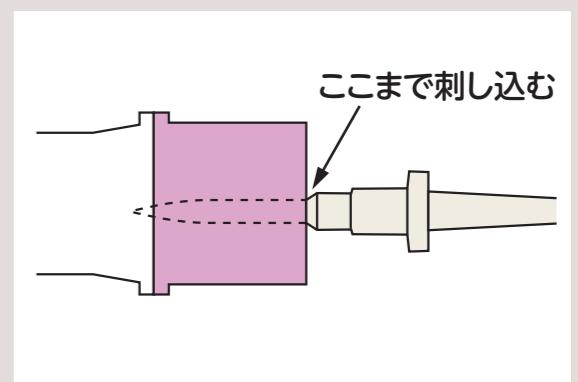
③ クレンメを閉じる

[クレンメの使用方法は7ページ参照](#)

④ 輸液剤のゴム栓部分のシールをはがし、消毒する



⑤ びん針のプロテクタをはずして、 びん針をゴム栓○印にまっすぐ刺し込む



⑥ 点滴筒をゆっくり指で押しつぶして放す「ポンピング」 を数回行い、点滴筒中央の線まで薬液をためる



⑦ 輸液剤を点滴スタンド等に つり下げ、クレンメを徐々に 開き、チューブ内に薬液を流す



⑧ フィルターは、 薬液出口方向を上にして フィルターをささえ、 ゆっくりと薬液を流す



⑨ コネクター又はヒューバー針の先端から薬液が出てきたら、 クレンメとワンタッチクレンメを閉じる



これでこの操作は終了になります。

電源を入れる

説明した人 説明受けた人

流量を設定する(確認する)

各部の名称
フレンズ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

交換方法

閉塞警報

空液警報

- ① 電池カバーロックを下側「開」へスライドさせて開く



- ② 充電池を入れる



- ③ ピーッと鳴り電源が入る
(動作インジケーターが赤色と緑色の点滅を3回くり返します)



*電源が入った状態で、ポンプが停止している時は、流量の数値が点滅しています。

各部の名称
フレンズ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

交換方法

閉塞警報

空液警報

_____さんの点滴の流量は
_____ mL/時間です。
ポンプの流量表示を確認しましょう。



○部分が指示された値か確認してね

流量を変更するとき



「-」を1回押すと数字が減ります
「+」を1回押すと数字が増えます

医師の指示流量に合わせましょう!

各部の名称
フレンズ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

交換方法

閉塞警報

空液警報

チューブをポンプにセットする

各部の名称
フレーム使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットするに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称
フレーム使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットするに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

交換方法

閉塞警報

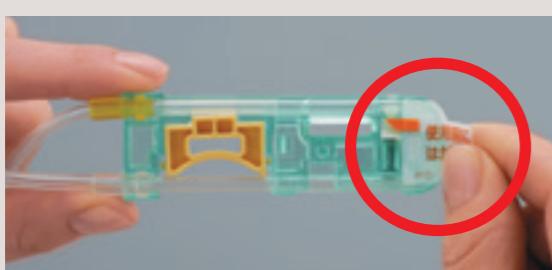
空液警報

- 1** カバーオープンボタンを2つ同時に押してカバーを開く



同時に押す

- 2** カセットをポンプにセットする



シールをはがす



カセットに浮きがなく、チューブのかみ込み、折れ、つぶれ、たるみがないことを確認します。



※正しくセットされていない場合、チューブが破損し、液漏れが発生する可能性があります。

- 3** カバーを閉める



- (1)ヒューバー針を使用する場合は、20ページの方法で、穿刺、固定する
(2)体外式カテーテルを使用する場合は、④⑤を行う

- 4** からだ 体側の接続部を消毒する



- 5** チューブセットを接続する



これでこの操作は終了になります。

ヒューバー針の穿刺と固定

各部の名称
フレーム使用方法充電池の準備
電源アダプタの
使い方輸液剤を満たす
チューブセットに

電源を入れる

流量を設定する
チューブをボンバー

開始・停止する

交換方法
輸液剤の

閉塞警報

空液警報

各部の名称
フレーム使用方法充電池の準備
電源アダプタの
使い方輸液剤を満たす
チューブセットに

電源を入れる

流量を設定する
チューブをボンバー

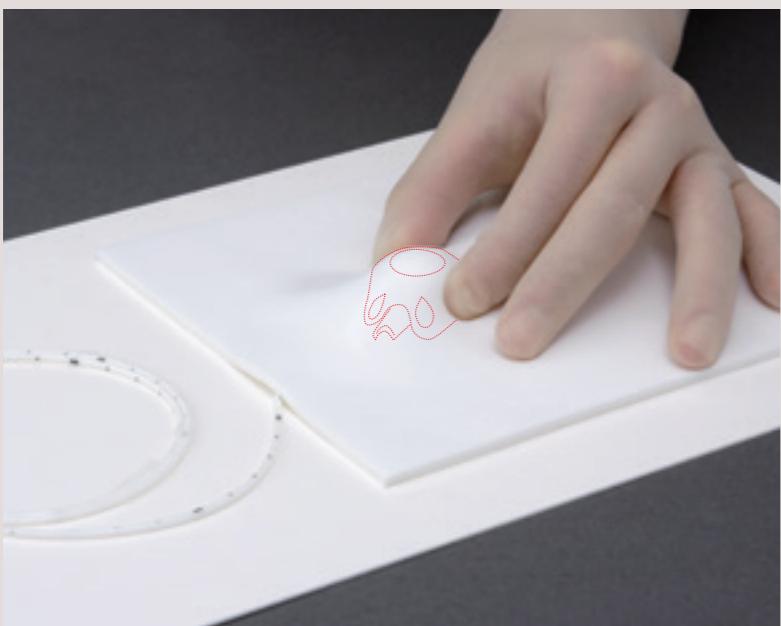
開始・停止する

交換方法
輸液剤の

閉塞警報

空液警報

① ポートの埋め込み位置を確認する



③ ウィングを広げる ウィング部が広がった状態で固定される

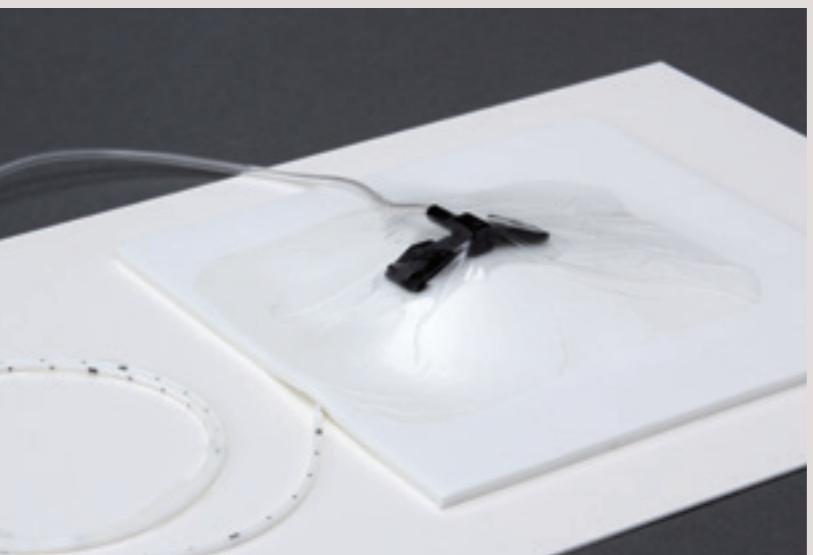


② ヒューバー針を持ち、 ポートのセプタム部(シリコンゴム部)に穿刺する



「カツッ」と
感触があるまで
刺します

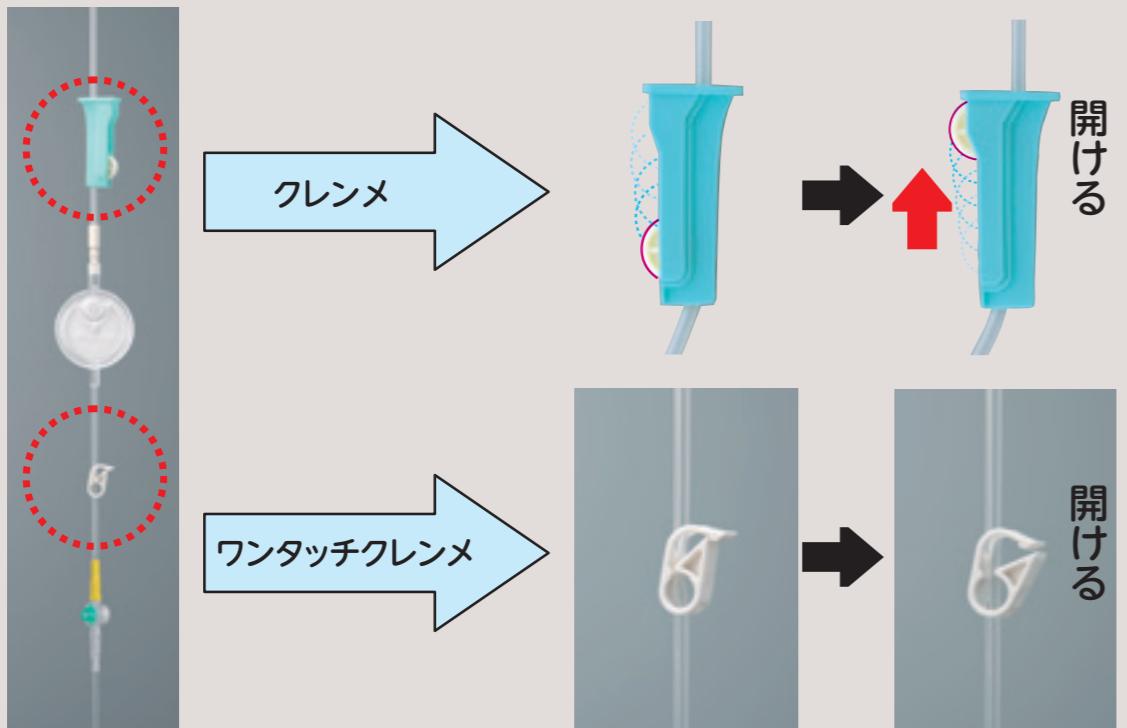
④ ドレッシング材で固定する



開始する

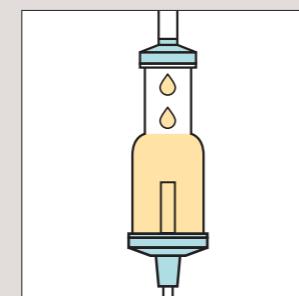
説明した人 説明うけた人

- ① クレンメ、ワンタッチクレンメを全開にする
ヒューバー針を使用する場合は、
ヒューバー針のワンタッチクレンメも開ける



- ② スイッチを右側「開始」へ動かし点滴を開始する

緑色点滅



液がポタポタ
落ちているの
を確認してね



これでこの操作は終了になります。

停止する

説明した人 説明うけた人

点滴を終了します。

- ① スイッチを左側「停止」にする



- ② クレンメを閉じる

[クレンメの使用方法は7ページ参照](#)

カセットをはずし、充電池を取り出したら
操作は終了となります。

ポンプ作動中の特徴

- 「流量設定スイッチ」や「カバーオープンボタン」は操作できません。
- 設定した流量が60mL/時間未満の場合は、ローターが間欠作動（動いたり、止まったり）をします。

輸液剤の交換方法

毎日決まった時間に輸液剤の交換をしましょう。

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

- 1** スイッチを左側「停止」にする



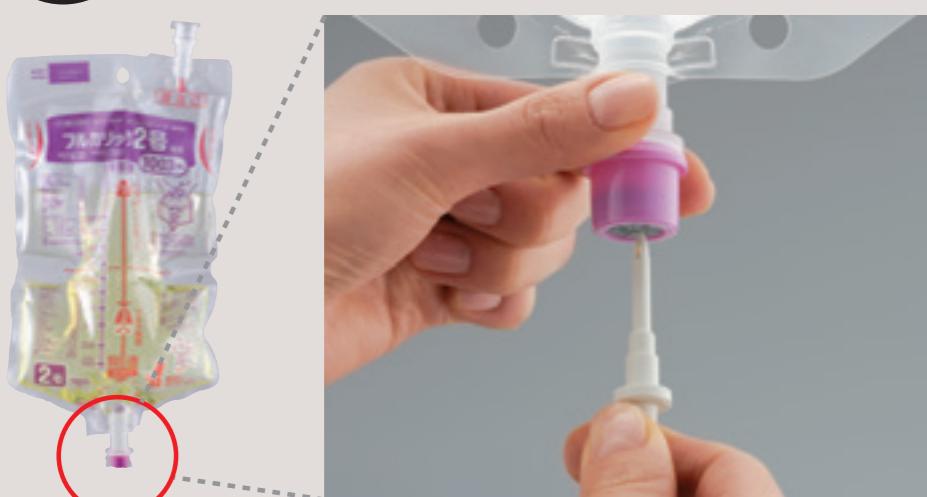
- 2** クレンメを閉じる

クレンメの使用方法は7ページ参照

- 3** 充電池を交換する



- 4** 空の輸液剤からびん針を抜き、新しい輸液剤にびん針を刺す



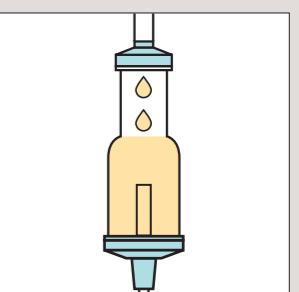
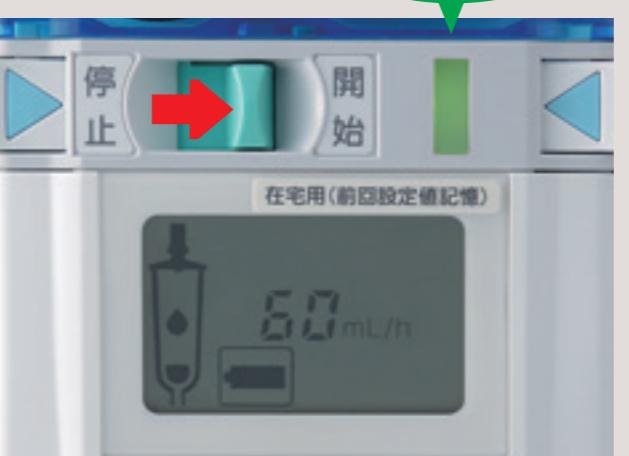
※びん針が正しく刺さっていることを確認しましょう。

- 5** クレンメを開く

クレンメの使用方法は7ページ参照

- 6** スイッチを右側「開始」へ動かし点滴を開始する

緑色点滅



液がポタポタ
落ちているの
を確認してね



これでこの操作は終了になります。

輸液中の注意点

- 輸液剤には遮光カバーをつけてご使用ください。
※薬剤の種類によっては、温度や光の影響を受けやすいものもありますので詳しくは医師の指示に従ってください。
- 定期的に薬剤が減っていることを確認してください。
- 輸液剤に冷暖房器具の風があたっていないことを確認してください。
- チューブセットは週2回交換しましょう。

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

へいそく 閉塞

「輸液が流れていません」と言つたら

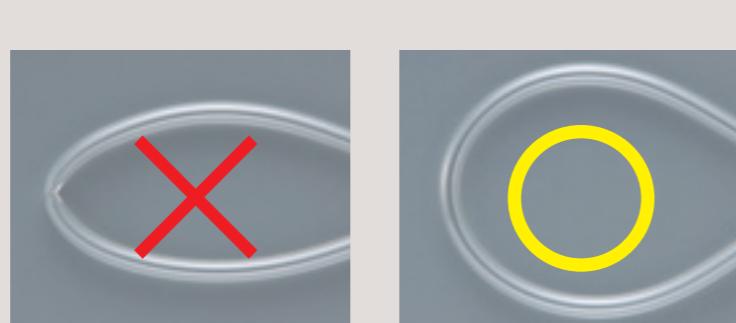
音声メッセージ

「輸液が流れていません。チューブが折れていないか、クレンメが閉じていないか、確認してください。」

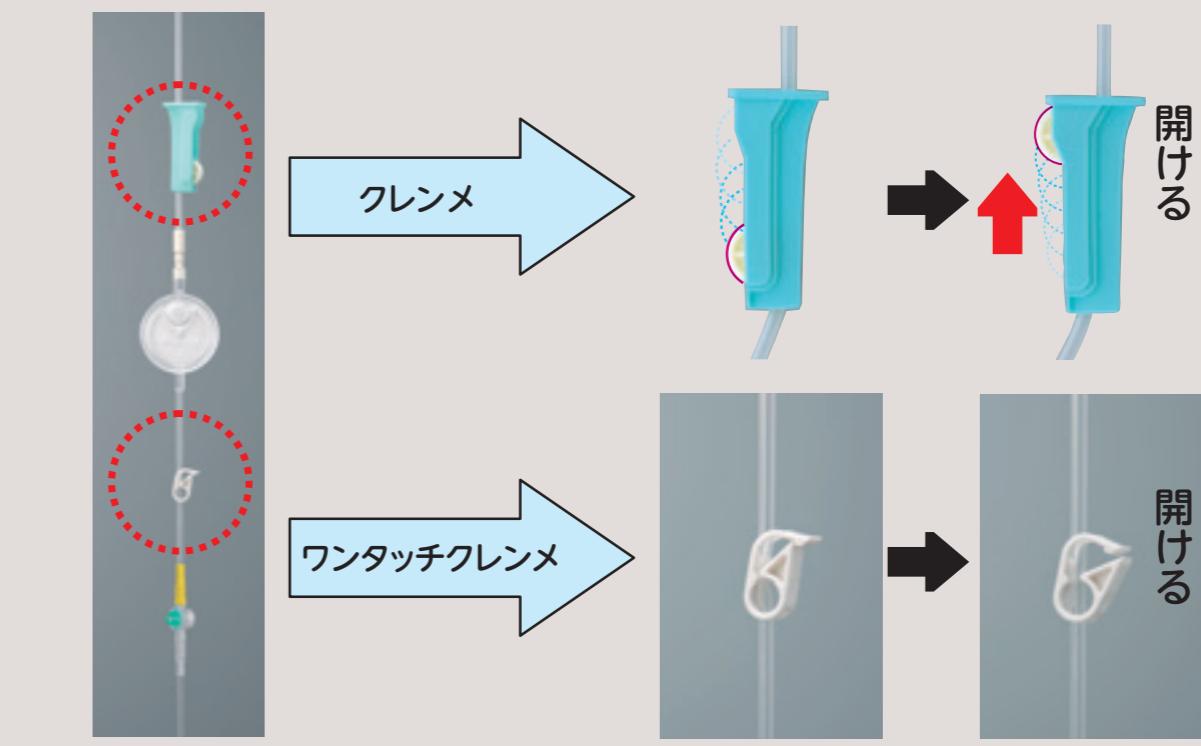
① スイッチを左側「停止」へ動かす（音声が止まります）



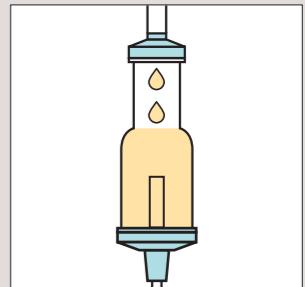
② クレンメを閉じてチューブが折れ曲がっていないか確認して、もとにもどす



③ クレンメ、ワンタッチクレンメが閉じていないか確認して、全開にする



④ スイッチを右側「開始」にして点滴を再開する



液がポタポタ落ちているのを確認してね



これで対処終了になります。

輸液剤とポンプの間のチューブの折れについては、お知らせしませんのでご注意ください。

音声メッセージ

「輸液剤が空になっているか、カセット のチューブに空気が入っています。
ご使用の手引きや取扱説明書を見て対
処してください。」

各部の名称

フレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称

フレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

② 輸液剤を確認する

輸液剤は？



ある



30ページへ

ない



34ページへ

① スイッチを左側「停止」へ動かす（音声が止まります）

赤色点滅



輸液剤がある場合



くうえき
空液

説明した人 説明受けた人

カセットのチューブに入った空気を取り除きましょう

① クレンメを閉じる

クレンメの使用方法は7ページ参照



② カバーを開けカセットを取り出す

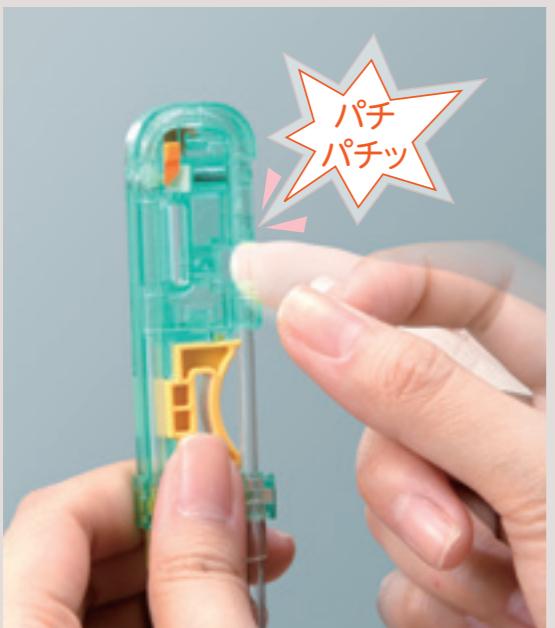


同時に押して



カセットを取り出す

③ カセットを5回指ではじく



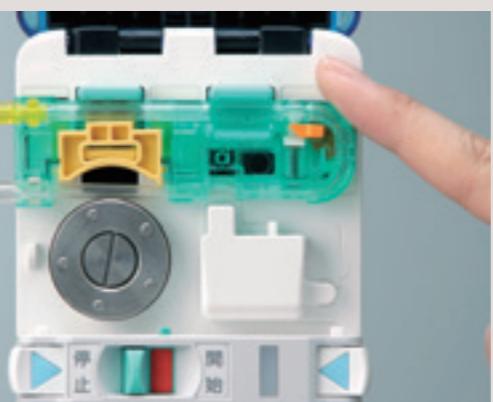
パチ
パチッ



この部分にある小さな気泡が原因です。指ではじくことによってこの気泡を移動させます。



④ カセットをポンプにセットし、カバーを閉める



カチッ

⑤ クレンメを開く

クレンメの使用方法は7ページ参照

⑥ ポンプのスイッチを右側「開始」にして点滴を再開する



それでもアラームが鳴り続ける場合は
32ページのような対処方法があります。



これで対処終了になります。

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットの輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットの輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

アラームが鳴り続ける場合

各部の名称
クレンメ使用方法充電池の準備
電源アダプタの使い方
チューブセットに輸液剤を満たす
電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称
クレンメ使用方法充電池の準備
電源アダプタの使い方
チューブセットに輸液剤を満たす
電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

- 1** クレンメを閉じる
[クレンメの使用方法は7ページ参照](#)



- 2** ポンプからカセットを外して、カチッとスタンドに入れる

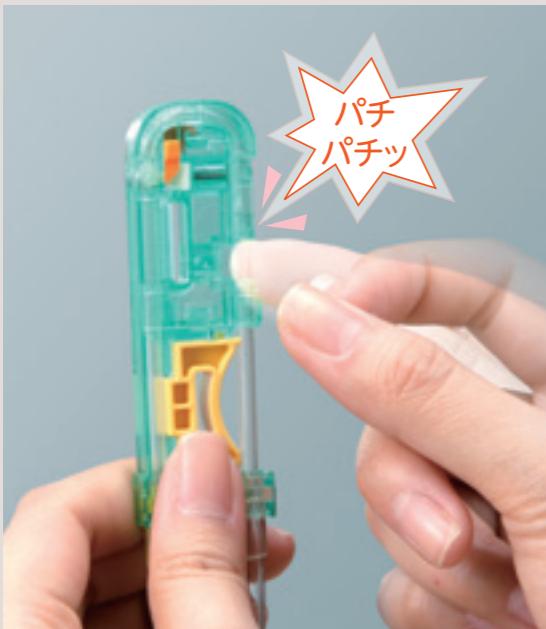
⚠ 注意
クレンメを閉じてから入れること。



この操作によりカセット内のストップーが開き、アンチフリーフローのしづみが解除されます。

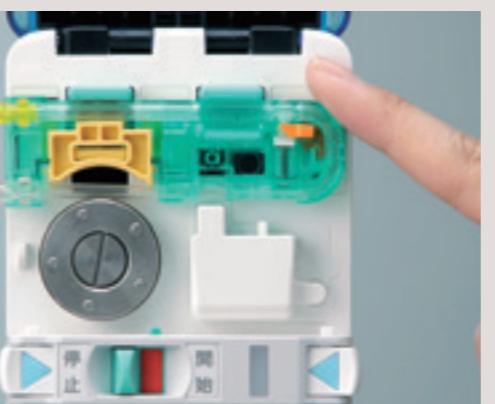
※アンチフリーフローについては、P37をご参考ください。

- 3** カチッと音がしたら、カセットをスタンドからとり出して、5回指ではじく。



この部分にある小さな気泡が原因です。指ではじくことによってこの気泡を移動させます。

- 4** カセットのチューブ内に気泡がないのを確認し、カセットをポンプにセットして、カバーを閉める

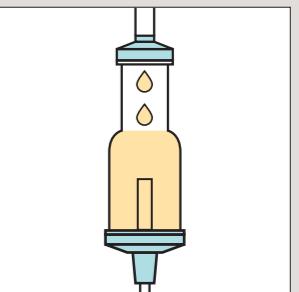
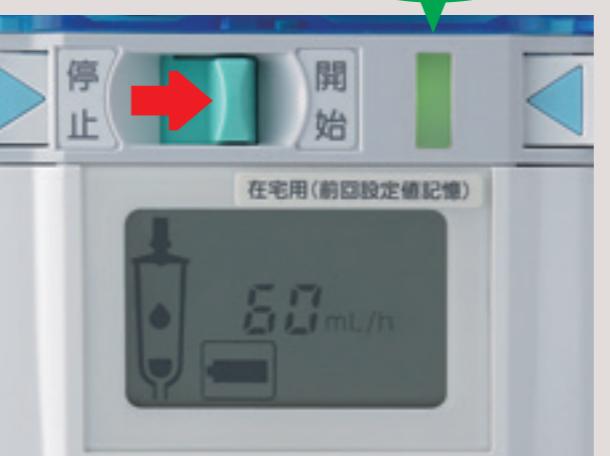


- 5** クレンメを開く

[クレンメの使用方法は7ページ参照](#)

- 6** スイッチを右側「開始」にして点滴を再開する

緑色点滅



液がポタポタ落ちているのを確認してね



これで対処終了になります。

輸液剤がない場合



くうえき
空液

説明した人 説明受けた人

新しい輸液剤とチューブセットに交換しましょう

① クレンメを閉じる

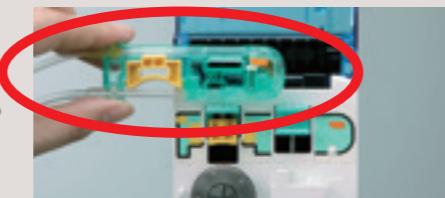
クレンメの使用方法は7ページ参照



② カバーを開けカセットを取り出す



同時に押して



カセットを取り出す

③ 新しい輸液剤とチューブセットに交換する

*輸液剤、チューブセットの交換にあたっては
12~15ページも参照ください。

プライミング*をご自分でされていない方は
_____へご連絡ください。

*プライミング：チューブセットに輸液剤を満たすこと

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの
使い方

チューブセットに
輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定
する

チューブをポンプ
にセットする

開始・停止する

輸液剤の
交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの
使い方

チューブセットに
輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定
する

チューブをポンプ
にセットする

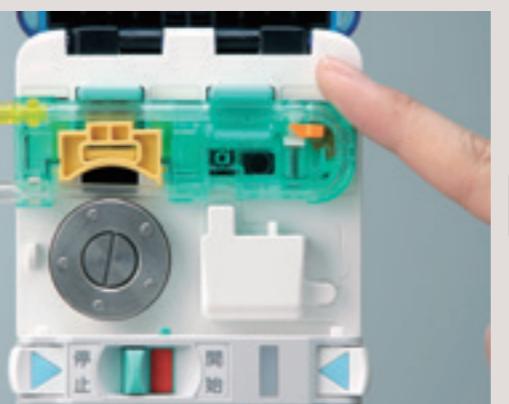
開始・停止する

輸液剤の
交換方法

閉塞警報

空液警報

④ カセットをポンプにセットし、カバーを閉める

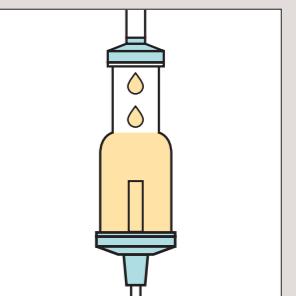


⑤ クレンメを開く

クレンメの使用方法は7ページ参照

⑥ ポンプのスイッチを右側「開始」にして点滴を再開する

緑色点滅



液がポタポタ
落ちているの
を確認してね



これで対処終了になります。

空液警報が鳴らないために 気をつけること

基本用語（豆知識）

各部の名称
フレーム使用方法

充電池の準備

電源アダプタの
使い方

チューブセットに
輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプに
セットする

開始・停止する

輸液剤の
交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称
フレーム使用方法

充電池の準備

電源アダプタの
使い方

チューブセットに
輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプに
セットする

開始・停止する

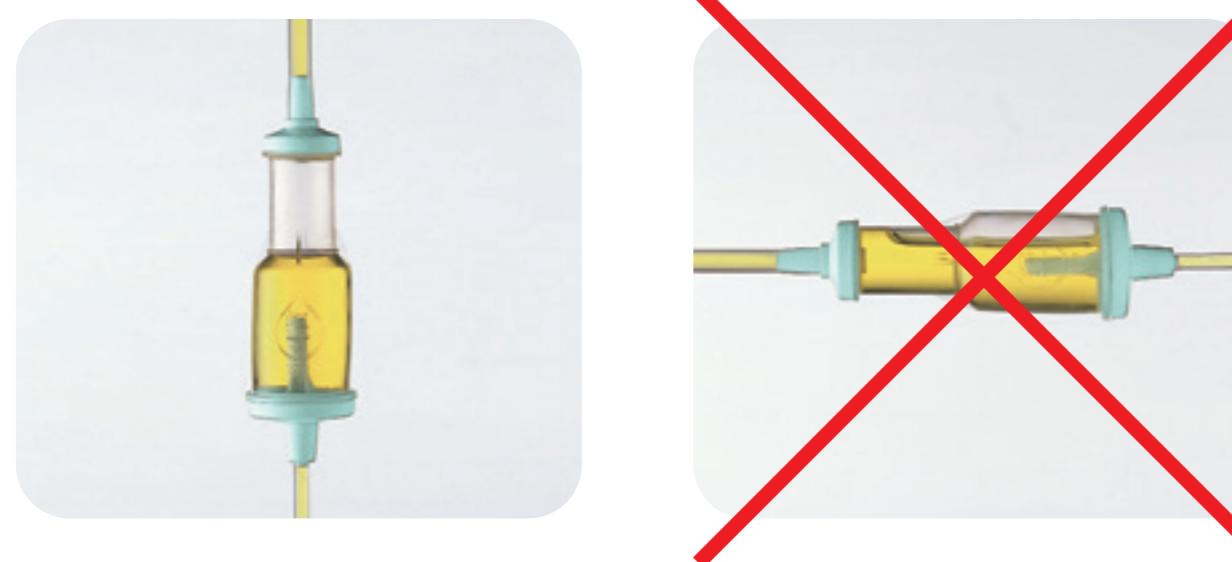
輸液剤の
交換方法

閉塞警報

空液警報

- 温度変化で輸液剤内に泡が発生しやすくなります。
いつも生活される部屋の中においてください。
冷蔵された輸液剤は点滴を開始するお部屋に出して
おきましょう。
目安は3時間前です。

- 点滴筒は、空気を巻き込みにくい構造になっていますが、
横にしたままの状態で、歩いたり、移動をしないように
しましょう。(横のまま動くとゆれて空気が入る可能性
があります)



- お部屋の環境をチェックしましょう。
輸液剤に冷暖房器具の風があたっていませんか？

● アンチフリーフロー (P.32)

輸液中に、万一ポンプのカバーが開いたり、チューブセットからはずれた場合に、輸液剤が急速に体内に流れ込むのを防ぐ機構です。ポンプのカバーが開いた場合と、カセットをポンプからはずした場合に、カセット内のチューブを閉塞するしくみになっています。

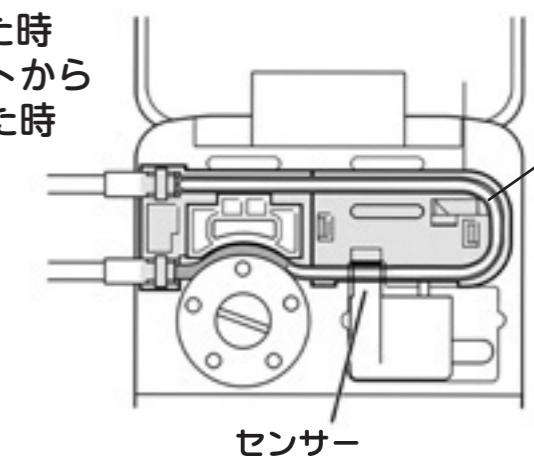
● 空液警報の仕組み (P.28)

カフティーポンプSは、本体に取り付けられた超音波センサーによって、チューブセットに混入する空気を常に監視しています。このセンサーは、次のような場合に警報を鳴らしてポンプを停止させるしくみになっています。（ポンプの故障ではありません）

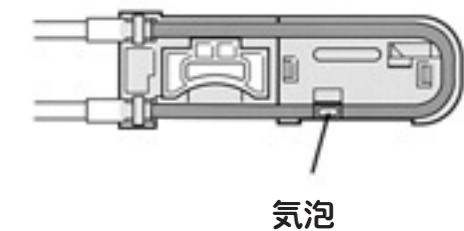
- ① チューブセット内に約1.0mL (25~35cm) の境目のない空気の塊がある場合

例：

- ・輸液剤がなくなるまで点滴を続けた時
- ・プライミングの際、チューブセットから空気を充分に追い出していなかった時



- ② チューブセット内に小さな気泡が発生し、空液センサー部に滞留した場合



点検

■充電池による稼働時間の目安

カフティーポンプSは、新品の専用充電池1回の満充電にて2,000mLの送液が可能です。

(ただし、新品の専用充電池にて周囲温度25°C、満充電後で使用時)

設定流量 (mL/h)	稼働時間の目安 (時間)
80以下	24
100	20
120	17
150	13
250	8
300	7

◆左表の稼働時間を目安に、満充電された専用充電池に交換してください。

◆輸液剤の交換と同時に、専用充電池を交換してください。

◆1日に2,000mL以上の輸液投与を行う場合には、電源アダプタの併用を検討してください。

半年に一度ポンプの点検を行います。

通院時等に病院にて点検済みのポンプと交換いたします。

返却方法

使用しなくなった場合は、速やかに4ページ「準備するもの」の全てがそろっていることを確認の上、機器を受け取った医療機関にご返却ください。



チェックシート

ご自宅で快適な生活を過ごすために

退院までに確認すること

項目	確認 (年月日)
①充電池の準備方法がわかりますか？	
②電源アダプタの使い方がわかりますか？	
③ポンプ・チューブセット各部の名称がわかりますか？ (クレンメ・点滴筒・カセット・フィルター)	
④電源の入れ方・切り方がわかりますか？	
⑤流量の設定方法がわかりますか？	
⑥ポンプのカバーを開けて、チューブセットを装着できますか？	
⑦点滴が開始できますか？	
⑧音声アラームの解除ができますか？ 【閉塞】警報・【空液】警報	へいそく 閉塞 くうえき 空液
⑨「カチッとスタンド」の使用方法がわかりますか？	
⑩ポンプ故障時の対応方法がわかりますか？	

快適な生活を過ごすために

流量 (P.17にも記載)	mL/時間
輸液剤交換 (開始) 時刻	時 時
輸液剤交換者	
チューブセット交換日	毎週 曜日
	毎週 曜日
チューブセット交換者	
プライミング実施者 (P.34にも記載)	

※この内容は療養中変更になる場合があります

オプション品(別売品)一覧表

説明した人 説明受けた人

メモ

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

輸液剤の交換方法

閉塞警報

空液警報

■ ソフトケース

(収納例)



コード番号：YY-ZP101SC

ポンプ本体を保護するソフトケース。
フック等に吊り下げる事もできます。

JANコード：4560235471274
希望小売価格1,400円(税別)

■ キャリーパック™(大容量)

(装着例)



コード番号：YY-ZP102KP

輸液システム一式を装着できるバッグ。
1.5Lの輸液剤を入れることができます。

JANコード：4560235471298
希望小売価格7,800円(税別)

■ コンパクト輸液スタンド



コード番号：TE-821

必要な器具、薬品類をコンパクトにセットできるスタンドです。

JANコード：4560235471236
希望小売価格12,000円(税別)

■ ジャケットⅡ



コード番号：YY-ZP102JK

輸液システム一式を装着できるジャケット。
歩行等の際に便利です。

JANコード：4560235471281
希望小売価格8,500円(税別)

<購入方法> 患者様の場合

カフティーポンプS貸出しの事業者から購入できます。その際、手数料や送料等
がかかる場合があります。

医療機関の場合

お取引をしている医薬品医療機器卸から購入できます。

カフティー[®]ポンプS 音声メッセージと対応一覧

電源アダプタ接続マークが点滅していたら

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

交換方法

閉塞警報

空液警報

各部の名称
クレンメ使用方法

充電池の準備

電源アダプタの使い方

チューブセットに輸液剤を満たす

電源を入れる

流量を設定する

チューブをポンプにセットする

開始・停止する

交換方法

閉塞警報

空液警報

音声メッセージ	原因	対処方法
ポンプが故障しました。緊急連絡先に連絡してください。ポンプは操作しないでください。	ポンプが故障してエラー表示した	修理をお申し付けください。
カセットが入っていません。スイッチを停止側にした後、ポンプにカセットを入れてください。	カセットを正しく装着していない	1. カバーを開け、カセットのイラストに従ってカセットを装着し、カバーを閉めます。 2. チューブセットのクレンメを開きます。 3. 流量の設定値を確認し、輸液を開始します。 4. ランプが緑色の点滅になっていることを確認します。
輸液剤が空になっているか、カセットのチューブに空気が入っています。ご使用の手引きや取扱説明書を見て対処してください。	空液警報	1. 【開始／停止・消音】スイッチを停止側にし、警報音を消音します。 2. チューブセットのクレンメを閉じます。 3. 輸液を終了する場合は、カセットを取り出し、チューブセットを外します。 輸液を継続する場合は、新しい輸液剤とチューブセットに交換し、使用方法に従って輸液を再開します。
輸液が流れていません。チューブが折れてないか、クレンメが閉じていないか、確認してください。対処が終わったらスイッチを一旦停止側にした後、開始側にしてください。チューブが折れてない、クレンメが閉じていない場合は、緊急連絡先へ連絡してください。	閉塞警報	1. 【開始／停止・消音】スイッチを停止側にし、警報音を消音します。 2. チューブセットのクレンメを閉じます。 3. チューブセットを点検し、閉塞している要因を取り除きます。 4. チューブセットのクレンメを開きます。 5. 流量の設定値を確認し、輸液を再開します。
カフティーポンプ専用の電源アダプタを接続してください。	不適切な電源アダプタを接続した	専用の電源アダプタを接続してください。 専用の電源アダプタを使用している場合は電源アダプタの故障です。修理をお申し付けください。
もうすぐ電池がなくなります。スイッチを停止側にし、電池を交換してください。電池の交換が終わったらチューブを確認し、スイッチを開始側にしてください。	電池残量が少なくなった	1. 【開始／停止・消音】スイッチを停止側にします。 2. 専用電源アダプタを使用して、電源コンセントに接続するか、電池を交換します。 3. 流量の設定値を確認し、輸液を再開します。
電池がなくなったので、停止します。スイッチを停止側にし、電池を交換してください。電池の交換が終わったらチューブを確認し、スイッチを開始側にしてください。	電池がなくなった	1. 【開始／停止・消音】スイッチを停止側にします。 2. 専用電源アダプタを使用して、電源コンセントに接続するか、電池を交換します。 3. 流量の設定値を確認し、輸液を再開します。
輸液が開始されていません。スイッチを開始側にしてください。	開始忘れ	流量の設定値を確認し、輸液を開始します。
スイッチが開始側です。スイッチを停止側にしてください。	電源投入時に【開始／停止・消音】スイッチが開始側になっている	1. 【開始／停止・消音】スイッチを停止側にし、警報音を消音します。 2. 流量の設定値を確認し、輸液を開始します。
電源アダプタでは充電できません。		電源アダプタでは充電できないことをお知らせするメッセージです。
電池がなくなりました。スイッチを停止側にし、電池を交換してください。電池の交換が終わったら、チューブを確認し、スイッチを開始側にしてください。	電池がなくなった（専用の電源アダプタで動作中に）	1. 【開始／停止・消音】スイッチを停止側にし、電池を交換します。 2. 流量の設定値を確認し、輸液を再開します。 ※電池を併用していない場合にも鳴ります。 その際は電池を入れてください。

さらに再発する場合は、ポンプの故障や体からのカテーテルのトラブルも考えられますので、指定された緊急連絡先（裏表紙）への連絡をお願いします。



● 壁のコンセントへの接続がされていません。
接続してください。
接続マークが点滅から点灯になります。

● コンセントに接続しても点滅している場合は電源アダプタの断線またはポンプの故障が考えられます。

カフティーポンプは電源アダプタ接続マークが点滅している場合でも、専用充電池で稼働します。専用充電池の残量が少なくなると「バッテリマーク」が点滅し（下図）、音声でお知らせします。

すみやかに充電済みの専用充電池に交換してください（交換せず、そのまま放置すると約30分でポンプが停止し、電源が切れます）。

